

会 告

日本きのこ学会第 27 回大会のご案内（第 2 回）

日本きのこ学会第 27 回大会のプログラムが決定しましたので、お知らせいたします。オンライン・対面併用のハイブリッドという新たな形式での大会となりますが、活発な議論をどうぞよろしくお願いいたします。

なお、日本きのこ学会としましては、ハイブリッド形式での開催は初の試みですので、いろいろとトラブルの発生が危惧されますが、参加者の皆様におかれましては、何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。

日本きのこ学会第 27 回大会
大会委員長 霜 村 典 宏

記

I. 大会概要

1. 期 日：

2024 年 9 月 3 日（火）－ 9 月 4 日（水）

2. 会 場：

○対面式会場

2024 年 9 月 3 日（火）－ 9 月 4 日（水）

米子コンベンションセンター BIGSHIP

多目的ホール

〒683-0043 鳥取県米子市末広町 294

TEL：0859-35-8111

FAX：0859-39-0700

<https://www.bigship.or.jp/>

○オンライン会場

オンラインで参加される方には、直前に e-mail にて、Zoom の ID とパスワードを配布いたします。

○懇親会

9 月 3 日（火）

米子ワシントンホテルプラザ

〒683-0053 鳥取県米子市明治町 125

TEL：0859-31-9111

FAX：0859-31-9119

<http://washington.jp/yonago>

3. 日 程：

9 月 3 日（火）

対面会場

8：00－	受付・登録 オンライン会場
8：00－	Zoom ID パスワード配布 (e-mail)
8：15－	ログイン受付開始
8：30－	日本きのこ学会第 27 回大会委員長挨拶
8：35－	日本きのこ学会会長挨拶
8：45－12：00	学生会員による一般講演（オンラインを含む）

12：00－13：00	昼休憩
13：00－14：00	学生会員による一般講演
14：00－16：45	一般講演（オンラインを含む）
17：00－17：30	ポスター発表（奇数番号）
17：30－18：00	ポスター発表（偶数番号）
18：30－20：30	懇親会 （米子ワシントンホテルプラザ）

9 月 4 日（水）

対面会場

8：00－	受付・登録 オンライン会場
8：00－	Zoom ID パスワード配布 (e-mail)
8：15－	ログイン受付開始
8：30－11：45	一般講演
11：45－12：45	昼休憩
12：45－13：00	授賞式（技術奨励賞，学生優秀発表賞，ポスター発表賞）
	記念撮影
13：00－14：30	基調講演
14：45－15：45	シンポジウム
15：45	閉会挨拶

II. プログラム

1. 基調講演 (Keynote Lecture)

[9 月 4 日（水）13：00－14：30]

場所：米子コンベンションセンター BIGSHIP
多目的ホール

- KL1 農林水産省輸出・国際局知的財産課種苗室
立岩 久松 氏
「しいたけ種，まいたけ種及びなめこ種の審査基準の改正について」
- KL2 農林水産省輸出・国際局知的財産課種苗室
杉澤 武 氏
「種苗法におけるきのこの新品種登録と育成者権保護」

KL3 全国食用きのこ種菌協会 福井 陸夫 氏
「きのこ種、きのこ品種の公的機関での保存・保管について」

2. シンポジウム (Symposium)

[9月4日(水) 14:45 - 15:45]

「きのこ品種に関する最新情報」

Sy1 株式会社キノックス 木村 栄一 氏
「キノコ種菌の特徴と今後の課題」

Sy2 森産業株式会社 牧野 純・田村 孝史 氏
「食用きのこ類の育種の歩みとこれから」

Sy3 株式会社北研 山内 隆弘 氏
「北研におけるきのこ品種の過去・現在・未来」

3. 受賞者講演

今大会では行われません。

4. 懇親会 [9月3日(火) 18:30 - 20:30]

場所：米子ワシントンホテルプラザ
2階 大宴会場 蘭の間

5. 学生会員による一般講演

[9月3日(火) 多目的ホール 8:45 - 14:00]

●オンライン講演

St1 エノキタケ廃菌床を利用した土壌還元消毒法によるハウレンソウ萎凋病の抑制効果

○齋藤すずな¹⁾, 川田久美子²⁾, 米村善栄²⁾, 村端広介³⁾, 土屋洋介³⁾, 石原 亨⁴⁾, 大崎久美子⁴⁾
〔¹⁾鳥取大院・持続性, ²⁾鳥取県園試, ³⁾JA 中野市, ⁴⁾鳥取大・農〕

St2 オリーブウロコタケ由来揮発性物質による植物病害抑制効果

○小西蓮華¹⁾, 宮地大輔²⁾, 石原 亨¹⁾, 大崎久美子¹⁾
〔¹⁾鳥取大・農, ²⁾鳥取大院・持続性〕

St3 エノキタケ廃菌床から単離した抗菌物質による病害抑制効果

○田中芹奈¹⁾, 道上真帆¹⁾, 竹中春人²⁾, 関 宏太²⁾, 村端広介³⁾, 土屋洋介³⁾, 竹内正彦⁴⁾, 石原 亨¹⁾, 大崎久美子¹⁾

〔¹⁾鳥取大・農, ²⁾鳥取大院・持続性, ³⁾長野県中野市農協, ⁴⁾(一社)長野県農工研〕

St4 きのこ廃菌床を用いた複合樹脂の熱水抽出液における抗菌活性

○福田尚寿¹⁾, 妹尾毅巳²⁾, 岡部有未³⁾, 豊田 慶³⁾, 石原 亨²⁾, 大崎久美子²⁾

〔¹⁾鳥取大院・持続性, ²⁾鳥取大・農, ³⁾パナソニック HD (株)・マニュファクチャリングイノベーション本部〕

●対面式講演

St5 きのこ麴を用いた発酵牛すじ肉の検討

○久保田真実¹⁾, 竹本尚未¹⁾, 福田史織²⁾, 松井徳光²⁾
〔¹⁾武庫女大院・食栄, ²⁾武庫女大・食栄〕

St6 ムラサキシメジを用いた清酒製造の検討

○西島七海¹⁾, 竹本尚未¹⁾, 福田史織²⁾, 松井徳光²⁾
〔¹⁾武庫女大院・食栄, ²⁾武庫女大・食栄〕

St7 カバノアナタケ培養菌糸体に含まれる生理活性物質の解析

○前刀穂香, 杉森康一, 藤あかね, 櫻井明彦
(福井大・工)

St8 (P35) アミスギタケの子実体形成に及ぼすアミノ酸の添加効果

○隠田美咲¹⁾, 中澤昌美¹⁾, 楠田瑞穂¹⁾, 阪本龍司¹⁾, 岩本武夫²⁾, 上田光宏¹⁾
〔¹⁾大阪公立大院・農, ²⁾慈恵医大・医〕

St9 (P36) シイタケの菌糸先端から産生されるβ-1,3-グルカナナーゼ

○佐藤萌々¹⁾, 小林菜々恵¹⁾, 金野尚武²⁾, 羽生直人²⁾
〔¹⁾宇都宮大院・地域創生, ²⁾宇都宮大・農〕

St10 バカマツタケの香気成分に関する研究

○中村綾那, 楠田瑞穂, 阪本龍司, 中澤昌美, 寺下隆夫, 上田光宏 (大阪公立大院・農)

St11 (P37) サナギタケにおけるフェアリー化合物の代謝に関する研究

○森井風詩¹⁾, 崔宰熏^{1,4)}, 鈴木智大^{3,5)}, 道羅英夫^{3,4)}, 近藤 満⁴⁾, 平井浩文^{1,4)}, 河岸洋和^{1,3)}
〔¹⁾静大院・総合農, ²⁾静大・共創, ³⁾静大・キノコ科研, ⁴⁾静大・グリーン研, ⁵⁾宇都宮大・バイオ〕

St12 (P38) ヤマブシタケ抽出物によるう蝕原性細菌 *Streptococcus mutans* のバイオフィルム阻害効果

○Siddiq Ayesha^{1,2)}, 濱治百々子²⁾, 阿座上弘行^{1,2,3)}
〔¹⁾鳥取大院・連農, ²⁾山口大院・創成科学, ³⁾山口大・中高温微セ〕

St13 (P39) シロキクラゲ菌糸体誘導物質の探索

○小林太洋, Nanthawan Kaenoniwong, 会見忠則, 一柳 剛 (鳥取大院・持社創生)

St14 (P40) キクラゲ菌糸体が生産する抗白癬菌物質の探索

○平田智基¹⁾, 宋晟遥²⁾, 会見忠則³⁾, 一柳 剛³⁾
〔¹⁾鳥取大院・連農, ²⁾鳥取大院・持社創生, ³⁾鳥取大・農〕

St15 (P41) QTL 解析を用いたシイタケの収量性に関する因子の探索

○木津川結奈¹⁾, 張吉麗¹⁾, 三ッ國佳祐¹⁾, 大橋勇敢²⁾, 田中祐生²⁾

〔¹⁾宇都宮大・バイオ, ²⁾森産業(株), ³⁾宇都宮大・農〕

St16 (P42) アミスギタケ *Polyporus arcularius* 単核

性発芽株の分離とその生活環の解明

- 利重大地¹⁾, 尾崎佑磨²⁾, 早乙女梢²⁾, 霜村典宏²⁾,
会見忠則²⁾, 辻 渉²⁾
(¹⁾鳥取大院・持社創生, ²⁾鳥取大・農)

6. 一般会員による講演

[9月3日(火) 多目的ホール 14:00 - 16:45]

●オンライン講演

- G1** 炭素源の違いがムラサキシメジの菌糸成長に及ぼす影響
○竹本尚未¹⁾, 西島七海¹⁾, 福田史織²⁾, 松井徳光²⁾
(¹⁾武庫女大院・食栄, ²⁾武庫女大・食栄)
- G2** 野生型エノキタケの男性ホルモン分泌促進成分アデノシン含量
○津田真由美¹⁾, 宜寿次盛生¹⁾, 東 智則¹⁾, 米山彰造¹⁾, 望月 淳²⁾, 長島浩二²⁾
[¹⁾道総研林産試, ²⁾㈱テクノスルガ・ラボ]
- G3** キノコ由来の新素材「白色菌糸パルプ」の創製
中内宙弥¹⁾, 天野良彦²⁾, ○田川聡美³⁾
(¹⁾東フィンランド大・理学森林, ²⁾信州大・工,
³⁾宮崎大・工)

●対面式講演

- G4** 福島県産野生きのこの放射性セシウム濃度の動向 (2023)
○広井 勝¹⁾, 影山志保²⁾, 諸岡信久¹⁾
(¹⁾元郡山女子大, ²⁾郡山女子大)
- G5** 伐採前の立木の微量放射能濃度を屋外の汚染環境でも測定可能な可搬型非破壊検査装置の開発
○加賀谷美佳¹⁾, 小林久泰²⁾, 金田一美有³⁾, 関根直樹⁴⁾, 榎本良治⁵⁾, 片桐秀明⁶⁾, 塚本ひかり⁵⁾, 福本仁也⁵⁾, 溝口孝大⁵⁾, 村石 浩⁵⁾, 渡辺 宝⁵⁾
(¹⁾仙台高専・総工, ²⁾茨林セ, ³⁾茨城県庁林業課,
⁴⁾茨城県県南農林事務所, ⁵⁾北里大・医衛, ⁶⁾茨城大院・理工)
- G6** 菌床シイタケ栽培における優良生産者の培養管理 (特に温度管理について)
○吉住真理子¹⁾, 阿部正範²⁾ (¹⁾徳農技セ, ²⁾元徳農技セ)
- G7** 原木の傷がシイタケ栽培に与える影響について
○八島武志 (石川県農総研セ)
- G8** 発生面を制御するシイタケ菌床栽培技術の改良
○原田 陽, 北村 啓, 橋本裕之, 宜寿次盛生 (道総研林産試)
- G9** シイタケ菌床の高温処理が菌糸塊の発生数に与える影響
○小川邦康¹⁾, 吉住真理子²⁾ (¹⁾慶大・理工, ²⁾徳農技セ)
- G10** シイタケほだ木の軟化とほだ化及び子実体発生量との関係

○片桐一弘, 加藤健一, 増野和彦 (長野林総セ)

[9月4日(水) 多目的ホール 8:30 - 11:45]

- G11** 振動を用いたシイタケ害虫防除および子実体発生促進
○高梨 琢磨¹⁾, 小林知里^{1,2)}, Sabina Avosani^{1,3)}, 小野寺隆一⁴⁾, 向井裕美⁵⁾
[¹⁾森林総研・東北支所, ²⁾東北大, ³⁾Fribourg 大,
⁴⁾東北特殊鋼㈱, ⁵⁾森林総研・関西支所]
- G12** 茶殻を用いたブナシメジ栽培の検討
○城石雅弘¹⁾, 横関 透¹⁾, 久保田裕司²⁾, 佐藤崇紀²⁾
[¹⁾長野農工研, ²⁾㈱伊藤園]
- G13** 「美味しさ」に着目したナメコ栽培技術の開発 (12) - 果実硬度計による歯応えの数値評価 -
○増野和彦¹⁾, 城石雅弘²⁾, 中村美晴²⁾, 古川 仁¹⁾
(¹⁾長野林総セ, ²⁾長野農工研)
- G14 (P43)** ハタケシメジの営利栽培における袋栽培の有用性について
○米田 舜¹⁾, 石川洋一¹⁾, 桐原 薫¹⁾, 増淵信男²⁾
[¹⁾栃木県林業センター, ²⁾㈱イー・エー・シー]
- G15 (P44)** ニオウシメジ菌床の培養期間と培養温度が子実体収量に及ぼす影響
○栗原敬博¹⁾, 小林久泰¹⁾, 関根直樹²⁾
(¹⁾茨城県林技セ, ²⁾茨城県県南農林事務所)
- G16** 異なる交配型を持つ単性株の共培養によるアマガサタケの露地栽培試験
○成松眞樹¹⁾, 佐藤志穂²⁾, 坂本裕一²⁾
(¹⁾岩手県林技セ, ²⁾岩手手工研)
- G17** マツタケ菌根合成苗による大型シロの作出
○古川 仁¹⁾, 辻 美森²⁾, 大野聖来²⁾, 山田明義²⁾, 小林久泰³⁾, 片桐一弘¹⁾, 山中高史⁴⁾
(¹⁾長野林総セ, ²⁾信州大・農, ³⁾茨城県林技セ,
⁴⁾森林総研東北支所)
- G18** 乾燥酵母粉末「DYP」添加によるブナシメジの機能性成分の向上効果 (2)
○宮嶋 光¹⁾, 菅原駿人²⁾
[¹⁾長野野花試, ²⁾テーブルマーク㈱]
- G19** 酒粕を利用したビタミン含有きのこボールの開発
○福田史織¹⁾, 久保遥香¹⁾, 竹本尚未²⁾, 鮫島由香³⁾, 沢柳幸弘⁴⁾, 松井徳光¹⁾
[¹⁾武庫川女大・食栄, ²⁾武庫女大院・食栄, ³⁾羽衣国際大・食栄, ⁴⁾㈱沢柳きのこ園]
- G20** ゴム分解キノコの分泌成分による加硫ゴム物性低下促進作用
○佐藤 伸 (公立鳥取環境大・環境)
- G21 (P45)** タケチップを含む培地で培養したマンネンタケ属のきのこが有する免疫チェックポイント阻害活性および抗アレルギー活性

○小堀 一^{1,2}, 安間太郎³, 戸田雅明³, ダレッサンドロガバザ コリナ³, ガバザ エステバン³

(¹岩出菌学研究所, ²静大キノコ科学研究所, ³三重大学医学部)

G22 (P46) ゲノム編集を用いたシイタケ遺伝子改変技術の開発

○入江俊一¹, 神谷彩音¹, 辻本悠馬¹, 成瀬正隆¹, 富士元みゆ¹, 鳴瀧拓馬¹, 住田達也¹, 泉津弘佑¹, 上辻久敏², 佐藤利次³, 河内護之⁴, 本田与一⁴

(¹滋賀県大・環境, ²岐阜森林研, ³北見工大, ⁴京大・農)

7. ポスター発表 (Poster presentation)

[9月3日(火) 17:00 – 17:30 (奇数番号)]

17:30 – 18:00 (偶数番号)]

P1 ヤマブシタケ抽出物に含まれるバイオフィルム阻害タンパク質の精製と同定

○阿座上弘行^{1,2,3}, Siddiqa Ayesha^{2,3}, 森川真有², 松田陸実⁴, 石丸隆行⁴

(¹山口大・中高温微生, ²山口大院・創成科学, ³鳥取大院・連農, ⁴宇部フロンティア大・食物栄養)

P2 きのことコンブを用いた出汁の官能評価

○東 智則, 米山彰造, 原田 陽 (道総研林産試)

P3 紫外線照射したスギおが粉を用いたシイタケ栽培技術の開発

○井上 伸 (三重県林業研究所)

P4 2品種のシイタケ (*Lentinula edodes*) の自己消化におけるトレハロース代謝関連酵素について

○上田光宏¹, 元辻 慧¹, 中澤昌美¹, 阪本龍司¹, 丸山正恵², 原田慎嗣², 石川真梨子², 小林 仁², 大内謙二², 稲富聡², 岩本武夫³

(¹阪公大院・農, ²ホクト・きのこ総合研, ³慈恵医大・医)

P5 アラゲキクラゲに含まれる新規紫色色素成分の単離と生物活性

○大沼広宜, 上杉祥太, 結城彩花, 菅野裕子, 白石朗子, 矢野 明 (岩手生工研・生物資源)

P6 木粉培地の無機元素 (Cd, Mn, Zn, Fe, Cu) 濃度がシイタケの子実体の Cd 濃度に与える影響について

○奥田尚子, 田淵諒子, 牛島秀爾, 作野えみ, ○寺島和寿 (日本きのこセ・菌茸研)

P7 ニオウシメジがバーク堆肥培地中で産生する酵素群の解析

○梶村姫里¹, 辻山千尋¹, 金野尚武², 羽生直人²
(¹宇都宮大院・地域創生, ²宇都宮大・農)

P8 シイタケ浅漬け処理における機能性成分の解析

○熊倉 慧¹, 黒瀬愛莉², 穴原 壮¹, 小林泰斗², 松

岡寛樹¹

(¹高崎健康福祉大院・農, ²高崎健康福祉大・農)

P9 原木マイタケ栽培における放射性セシウム汚染低減対策の検討～覆土の違いが子実体 ¹³⁷Cs 濃度に及ぼす影響～

○小林勇介¹, 長峯秀和¹ (¹福島県林研セ)

P10 月面基地における自給的なキノコ栽培に向けて

○近藤来成¹, 小山竜平², 宮崎安将³

(¹東北大・農, ²神戸大院, ³森林総研)

P11 Cordycepin 生産量を増加させる簡易なサナギタケ栽培技術

○佐々木史¹, Wong Chin Piow², 児玉 猛², 森田洋行¹ (¹富山県森林研, ²富山大和漢研)

P12 きのこと類を用いた DPP4 阻害物質高含有発酵液の製造

○佐々木伶, 本間裕人 (東京農業大院・醸造)

P13 農業廃棄物とセルロースナノファイバーを組み合わせたヒラタケ由来ラッカーゼ産生培地の開発

○澤井瑠奈¹, 金野尚武², 羽生直人², 和田風左^{1,3}, 志村麻衣³, 木村 徹³

(¹宇都宮大院・地域創生, ²宇都宮大・農, ³TOPPAN HD)

P14 白色腐朽菌酵素重合柿タンニンによる植物成長促進効果を活用したアグロフォレストリー

○下保淳実¹, ○阿部可奈子¹, 岩間充展², 三亀啓吾¹
[¹新潟大・農, ²㈱アドヴァンス]

P15 マツタケのシロ土壌の真菌群集の調査

○高瀬尚文, プリエトラファエル, 關谷次郎 (京都先端大・バイオ環境)

P16 マツタケ由来の組換えエリオキシングナーゼの生化学的性質

東はるか, ○田崎裕二 (長岡高専・物質工)

P17 シイタケの原木栽培における収量および原木の無機元素 (Cd, Mn, Zn, Fe, Cu) 濃度が子実体 Cd 濃度に与える影響について

○田淵諒子, 奥田尚子, 牛島秀爾, 作野えみ, 寺島和寿 (日本きのこセ・菌茸研)

P18 ブナシメジ (*Hypsizygus marmoreus*) の自然集団における不和合性因子の分布

○中越 (小池) 歩, 仲野翔太, 後藤知晶, 原田慎嗣, 石川真梨子, 大内謙二 (ホクト・きのこ総合研)

P19 エノキタケ Thaumatin-like protein 遺伝子のトリコデルマ耐病性への関与

○中田富美¹, 池田華優¹, 茶木彩佳¹, 木下晃彦², 森 康浩¹

(¹福岡農林試資源セ, ²森林総研九州支所)

P20 形態観察, 分子系統解析および交配試験に基づくブナシメジ (*Hypsizygus marmoreus*) の分類学的

- 再検討
○仲野翔太¹, 中越(小池)歩¹, 原田慎嗣¹, 後藤知晶¹, 石川真梨子¹, 奥竹 史¹, Greg Thorn², 大内謙二¹, 長澤栄史³
(¹ホクト・きのご総合研, ²ウェスタン・オンタリオ大, ³日本きのこセ・菌茸研)
- P21 セシウム低吸収性シイタケ菌株の選抜に向けたアプローチ
○平出政和(森林総研・きのこ・森林微生物)
- P22 高濃度培地におけるマツタケ及びショウロの胞子状細胞の形成
○藤田 徹(京農水セ)
- P23 剥皮した原木からのシイタケ子実体の発生量について
皆川 拓¹, ○高橋健太郎², 成松眞樹²
(¹岩手県農林水産部森林整備課, ²岩手県林技セ)
- P24 菌床シイタケ栽培施設の多様な昆虫に対する捕虫紙色の効果
○向井裕美¹, 北島 博¹, 北野隆也², 高橋 誠²
[¹森林総研, ²カモ井加工紙(株)]
- P25 脱脂米ぬかを活用したブナシメジ菌床栽培用培地資材の開発
○村尾友美¹, 村田暁¹, 城石雅弘², 中野照之³
[¹昭和産業(株), ²長野農工研, ³ポーソー油脂(株)]
- P26 シュレッター古紙を利用したブナシメジ菌床栽培と品質評価
○李睿鉦¹, 王靖怡¹, 松元 賢²
(¹九州大・地球社, ²九州大・熱研セ)
- P27 エノキタケの子実体発生不良に関する基礎的検討
○若林美奈¹, 本間裕人¹, 内野昌孝², 志波 優², 徳岡昌文¹, 篠田清嗣³, 小島正和³, 山口真弥³
(¹東京農業大院・醸造, ²東京農業大院・分微, ³JA 中野市)
- P28 Diversity of *Trichoderma* Species isolated from the cultivating sawdust substrate of Shiitake, *Lentinula edodes* in Korea
Myung Soo Park, Min Kyung Kim and ○ Geon Sik Seo (Mushroom Sci., Korea Natl. Univ. of Agr. Fish.)
- P29 Environmental survey of truffle occurrence areas in Korea.
Min Kyung Kim, Myung Soo Park and ○ Geon Sik Seo
(Dep. of Mushroom Sci., Korea Natl. Univ. of Agr. Fish., Korea)
- P30 Effects of endo-hyphal bacteria on the mycelial growth of host and non-host mushroom strains
○Bancha THAMPGRAPHON¹, Tadanori AIMI², and Norihiro SHIMOMURA²
(¹The Unit. Grad. Sch. of Agri. Sci., Tottori Univ., ²Fac. of Agri., Tottori Univ.)
- P31 Effect of oxidative and copper stress on cytological features of the ectomycorrhizal mushroom, *Rhizopogon roseolus*
○Erwin AFRENDI¹, Tadanori AIMI² and Norihiro SHIMOMURA²
(¹Grad. School of Sustain. Sci, Tottori Univ., ²Fac. of Agri., Tottori Univ.)
- P32 ショウロ菌糸体における菌糸生育および菌糸細菌に及ぼす抗生物質処理方法の影響
○劉嫻筑¹, 會見忠則², 霜村典宏²
(¹鳥取大院・連農, ²鳥取大・農)
- P33 The impact of strigolactone GR24 and root-derived compounds on the growth and morphogenesis of ectomycorrhizal mushroom *Rhizopogon roseolus*
○Mutiaru Nur PRATIWI¹, Tadanori AIMI² and Norihiro SHIMOMURA¹
(¹Grad. School of Sustain. Sci, Tottori Univ., ²Fac. of Agri., Tottori Univ.)
- P34 Reexamination on taxonomic position of *Irpex parvulus* Yasuda
○Putut Fajar ARKO¹, Tsutomu HATTORI², Yuma OZAKI³ and Kozue SOTOME³
(¹The Unit. Grad. Sch. of Agri. Sci., Tottori Univ., ²FFPRI, ³Fac. of Agri., Tottori Univ.)
- P35 (St8) アミスギタケの子実体形成に及ぼすアミノ酸の添加効果
○隠田美咲¹, 中澤昌美¹, 楠田瑞穂¹, 阪本龍司¹, 岩本武夫², 上田光宏¹ (¹阪公大院・農, ²慈恵医大・医)
- P36 (St9) シイタケの菌糸先端から産生されるβ-1,3-グルカナナーゼ
○佐藤萌々¹, 小林菜々恵¹, 金野尚武², 羽生直人²
(¹宇都宮大院・地域創生, ²宇都宮大・農)
- P37 (St11) サナギタケにおけるフェアリー化合物の代謝に関する研究
○森井風詩¹, 崔宰熏^{1,4}, 鈴木智大^{3,5}, 道羅英夫^{3,4}, 近藤満⁴, 平井浩文^{1,4}, 河岸洋和^{1,3}
(¹静大院・総合農, ²静大・共創, ³静大・キノコ科研, ⁴静大・グリーン研, ⁵宇大・バイオ)
- P38 (St12) ヤマブシタケ抽出物によるう蝕原性細菌 *Streptococcus mutans* のバイオフィルム阻害効果
○Siddiq Ayesha^{1,2}, 濱治百々子², 阿座上弘行^{1,2,3}
(¹鳥取大院・連農, ²山口大院・創成科学, ³山口大・中高温微セ)
- P39 (St13) シロキクラゲ菌糸体誘導物質の探索

○小林太洋, Nanthawan Kaeoniwong, 会見忠則,
一柳 剛(鳥取大院・持社創生)

P40 (St14) キクラゲ菌糸体が生産する抗白癬菌物質の
探索

○平田智基¹⁾, 宋晟遙²⁾, 会見忠則³⁾, 一柳 剛³⁾
(¹⁾鳥取大院・連農, ²⁾鳥取大院・持社創生, ³⁾鳥取大・
農)

P41 (St15) QTL 解析を用いたシイタケの収量性に関
わる因子の探索

○木津川結奈¹⁾, 張吉麗¹⁾, 三ッ國佳祐¹⁾, 大橋勇敢²⁾,
田中祐生²⁾
[¹⁾宇都宮大・バイオ, ²⁾森産業(株), ³⁾宇都宮大・農]

P42 (St16) アミスギタケ *Polyporus arcularius* 単核性
発芽株の分離とその生活環の解明

○利重大地¹⁾, 尾崎佑磨²⁾, 早乙女梢²⁾, 霜村典宏²⁾, 会見
忠則²⁾, 辻 渉²⁾(¹⁾鳥取大院・持社創生, ²⁾鳥取大・農)

P43 (G14) ハタケシメジの営利栽培における袋栽培の
有用性について

○米田 舜¹⁾, 石川 洋一¹⁾, 桐原 薫¹⁾, 増淵信男²⁾
(¹⁾栃木県林業センター, ²⁾㈱イー・エー・シー)

P44 (G15) ニオウシメジ菌床の培養期間と培養温度が
子実体収量に及ぼす影響

○栗原敬博¹⁾, 小林久泰¹⁾, 関根直樹²⁾
(¹⁾茨城県林技セ, ²⁾茨城県県南農林事務所)

P45 (G21) タケチップを含む培地で培養したマンネン
タケ属のきのこが有する免疫チェックポイント
阻害活性および抗アレルギー活性

○小堀 一^{1,2)}, 安間太郎³⁾, 戸田雅明³⁾, ダレッサ
ンドロガバザコリナ³⁾, ガバザ エステバン³⁾
(¹⁾岩出菌学研究所, ²⁾静大キノコ科学研究所, ³⁾三
重大医学部)

P46 (G22) ゲノム編集を用いたシイタケ遺伝子改変技
術の開発

○入江俊一¹⁾, 神谷彩音¹⁾, 辻本悠馬¹⁾, 成瀬正隆¹⁾,
富士元みゆ¹⁾, 鳴瀧拓馬¹⁾, 住田達也¹⁾, 泉津弘佑¹⁾,
上辻久敏²⁾, 佐藤利次³⁾, 河内護之⁴⁾, 本田与一⁴⁾
(¹⁾滋賀県大・環境, ²⁾岐阜森林研, ³⁾北見工大,
⁴⁾京大・農)

Ⅲ. 発表される方への諸注意

口頭発表・ポスター発表とも、日本語または英語で作成
して下さい。

1. 口頭発表される方

- (1) 発表時間は交代も含め 15 分を予定しています。12
分の発表と、2 分の質疑応答をお願い致します。
- (2) 発表用 PC は Windows 機を 1 台用意します。発表
者は発表データ (PowerPoint ファイル) を USB メモ
リまたは CD に保存してご持参下さい。あらかじめ会

場の発表用 PC にファイルを保存して頂きます。

- (3) 要旨集にてプログラムをご確認の上、発表直前の休
憩時間までに保存してください。
- (4) 発表終了後、発表ファイルはゴミ箱に残さずに削除
します。
- (5) 発表時間は、
 - ① 発表 12 分
 - ② 質疑応答 2 分
 - ③ 交代 1 分
 の計 15 分を各自の持ち時間としますので、時間厳守で
お願いいたします。
- (6) 学生優秀発表賞
学生会員による口頭発表の中から「日本きのこ学会
学生優秀発表賞」を選定し、懇親会の席上で発表し、9
月 4 日 (水) の 12 時 45 分から表彰式を行います。また、
日本きのこ学会ホームページ上、日本きのこ学会誌上
で公開する予定です。

2. ポスター発表される方

- (1) ポスター展示の準備は 9 月 3 日 (火) の 8 時 30 分
から可能になる予定です。ポスター展示は 9:15 まで
に完了して下さい。限られた時間での議論・審査のた
めにご協力よろしくお願い致します。
- (2) 発表後の撤収は 9 月 4 日 (水) の 16 時までに完了し
て下さい。ポスター会場では翌日に別団体の催事があり
ますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。
- (3) ポスターサイズは A0 サイズ (高さ 1189 mm × 幅
841 mm) を基準に作成して下さい。ポスター発表ス
ペースは床からの高さ 1800 mm × 幅 900 mm です。
展示パネルに発表番号を記していますので、その下の
スペースをご利用ください。画鋏は会場に用意してあ
りますのでご使用ください。
- (4) 上部には必ず、発表題目、発表者氏名および所属を
明記して下さい。2 m 離れたところからも明瞭に読み
取れるように、文字や図表の記号などの大きさにご配
慮ください。

- (5) コアタイム

17:00 - 17:30 を

発表番号が、奇数番号のコアタイム

17:30 - 18:00 を

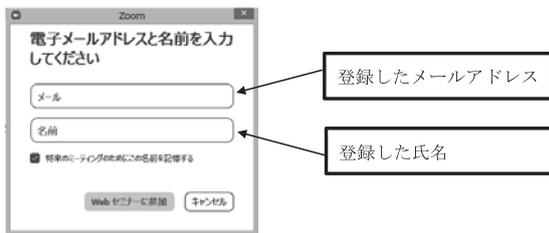
発表番号が、偶数番号のコアタイム

- に設定しています。この時間帯は、必ず自分自身のポ
スター前で、発表、質疑応答をお願いいたします。
- (6) ポスター発表の中から「日本きのこ学会ポスター発
表賞」を選定し、懇親会の席上で発表し、9 月 4 日 (水)
の 12 時 45 分から表彰式を行います。また、日本きの
こ学会ホームページ上、日本きのこ学会誌上で公開す
る予定です。

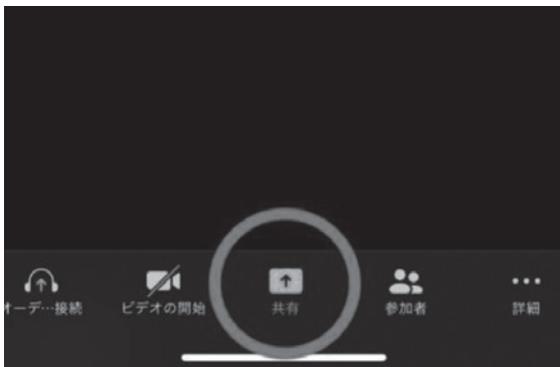
2. オンライン参加者の視聴および発表の手順

視聴および発表の手順につきましては、次の様にご案内致しますので、ご協力をお願いいたします。なお、Zoomの使用につきましては、こちらから特にご案内致しませんので、各自の責任で操作をお願いいたします。

- 1) 対面参加の方は、従来通りですが、米子コンベンションセンター BIG SHIP 内でのオンライン参加は、固くお断り致しますので、ご遠慮ください。
- 2) オンライン講演は Zoom を用いて行います。
アドレスは、以下の時刻をめぐにメールにて、お送り致しますので、各自ログインしてください。
① 9月3日(火) 8:00 ごろ
- 3) ログインに際しては、ご自身の氏名が表示されるようにしてください。ニックネーム等は、不可です。



- 4) 質問や発表を行うとき以外は、カメラを OFF にしてください。
- 5) 対面参加からオンライン参加への切替は、メールにて受け付けますが、開始間際のお申し出は、対応が遅れる場合もありますので、予めご了承ください。
- 6) 発表を行う際は、前の演者が終了後直ちに、ご自身で、ご自身のカメラおよびマイクを ON にすると同時に、スライドの共有をお願いします。なお、発表データ (PowerPoint ファイル) については、当日のトラブルに備え、大会実行委員会まで事前の提出をお願いする可能性があります。



- 7) 講演および質疑応答は、座長の指示に従い、座長が終了を指示した際は、直ちに画面共有を終了し、マイク、カメラを off にしてください。

- 8) 発表時間は、

- ① 発表 12分
- ② 質疑応答 2分
- ③ 交代 1分

の計 15 分を各自の持ち時間としますので、時間厳守でお願いいたします。

IV. 参加およびアクセスについて

1. 参加方法

- 1) 事前申し込みをされた方
大会予約申込者には、大会前に講演要旨と名札を郵送いたしますので、当日ご持参下さい。
- 2) 事前申し込みをされていない方
事前参加申し込みなく大会に参加される方は、当日受付にて以下の大会参加費、懇親会費をお支払いください。
- 3) 大会参加費 (講演要旨集代を含む)

会 員	7,000 円 (当日)
学生会員	4,000 円 (当日)
非 会 員	15,000 円 (予約・当日ともに)
- 4) 懇親会費

会 員	9,000 円 (当日)
生 会 員	5,000 円 (当日)
非 会 員	16,000 円 (予約・当日ともに)

2. 当日のアクセス・宿泊・食事

- 1) 大会当日の昼食・宿泊施設
実行委員会では、お弁当 (要予約) は、準備いたしますので、事前にお申し込みください。
なお、宿泊のお世話は致しませんので、ご了承ください。各自でお取り下さいますようお願いいたします。
- 2) 大会会場までの交通
以下のウェブサイトの交通案内をご参照下さい。
<https://www.bigship.or.jp/bigship/guest/15/>

